

H21～H29過去問分析によるH30の予測し難い内容の推定

試験元(公益財団法人建築技術教育普及センター)は、毎年、必ず**予測し難い問題**を課題に組み込んでくる(当研究会も各資格学校もなかなかこの点は的中していない)。研究会としては、今年こそは、この予測し難い内容を的中させて、「H29、H28の80%以上ズバリ的中した」に、更に今年は、「**予測し難い内容もズバリ的中した**」を加えたい。ここでは、H21～H29の試験課題について、事前の課題発表からは予測し難い内容を下表の通りまとめた。更に、そこから**H30の予測し難い内容**を推定した。

⇒今年こそは、下記H30の通りの中させたい(本内容は**予測課題3**で組込む)。

<p style="text-align: center;">H21 貸事務所ビル (1階に展示用の貸スペース、基準階に一般事務用の貸スペースを計画する。)</p> <p>本試験での予測し難い内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 敷地が正方形ではない台形 ② 1階に課題と関係のない喫茶店 ③ 機械式駐車場 (機械式駐車場の概略図が課題内にあり) 	<p style="text-align: center;">H22 小都市に建つ美術館</p> <p>本試験での予測し難い内容</p> <p>共用部門として「・・・子どもの美術学習・創作活動や地域住民の趣味の活動(以下ワークショップ)」を計画に盛り込み、下記の要求室がその条件となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ミュージアム ② アトリエ ③ 研修室 ④ 屋外創作広場 (100㎡以上、7m以上の円、屋外創作広場はアトリエ・公園・遊歩道との動線配慮) ⑤ 共用部門に課題と関係のないレストラン
<p style="text-align: center;">H23 介護老人保健施設 (通所リハビリテーションのある地上5階建ての施設である。)</p> <p>本試験での予測し難い内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 病院に併設される施設での出題 (病院との動線配慮) ② 1階に課題と関係のないレクリエーションルーム ③ 厨房が入所者とデイケア通所者の食堂の両方へ供給 	<p style="text-align: center;">H24 地域図書館 (段床形式の小ホールのある施設である。)</p> <p>本試験での予測し難い内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地下の設備スペース ② セブエントランスの設置と公園からの動線 ③ 小ホールを除き150㎡以上の吹抜け ④ 共用・管理部門に課題と関係のないカフェ

H25 大学のセミナーハウス

本試験での予測し難い内容

- ① 屋根は、2/10以上の勾配屋根
- ② 無柱空間、高さ5m、心々10m以上のアトリエ
- ③ 食事やパーティ等多目的に利用する80㎡以上の屋外テラス
- ④ エントランスホールへの1階と2階の空間の連続性を考慮した吹抜け

H26 温浴施設のある「道の駅」

本試験での予測し難い内容

- ① 休憩・情報部門は、24時間利用できる計画(破線図示)とし、便所以外に30人利用、授乳室、キッズコーナー、自動販売機コーナー、公衆電話コーナー、情報パネル、案内カウンターを計画
- ② 共用・管理部門に課題と関係のない多目的室
- ③ 共用・管理部門に課題と関係のない防災備蓄倉庫
- ④ 非常用の自家発電設備の設備スペース指定
- ⑤ レストランと一体利用する50㎡以上の屋外テラス

H27 市街地に建つディサービス付き高齢者向け集合住宅 (基礎免震構造を採用した建築物である。)

本試験での予測し難い内容

- ① 共用部門に課題と関係のないレストラン(食事をディサービス部門へ供給)
- ② 共用部門に課題と関係のないギャラリー
- ③ 計画地は駅から200mの距離
- ④ 東側道路は歩行者専用道路(21時～翌6時まで車両通行可)

H28 子ども・子育て支援センター (保育所、児童館・子育て支援施設)

本試験での予測し難い内容

- ① プレイルーム210㎡以上、高天井6.5m以上、室の辺長比1.5以下、無柱空間
- ② エントランスホールの親子ラウンジ
- ③ 2階に屋外広場を直径10mの円、約200㎡
- ④ 計画の要点等の環境負荷低減に太陽熱、地中熱、井水から2つ選択⇒断面図に環境負荷店芸手法の記載指示があり、作図にもこの内容が影響

H29 小規模なリゾートホテル

本試験での予測し難い内容

- ① 車回しは、前面道路を介することなく「共用駐車場」へもアプローチできるようにする。
- ② リラクゼーションスペースは、屋外湖畔に設け、入浴後の休憩やトレーニング後のクールダウンに利用
- ③ 客室の間口は、心々4m以上を確保
- ④ 地域の魅力の発見や活性化につながる観光資源等を任意に想定し、想定した観光資源等を活用する室を自由に提案するコンセプトルームを計画
- ⑤ 空調設備は、熱源機器からの冷温水の供給による「外気処理空調機＋ファンコイルユニット方式」とする

H30 健康づくりのためのスポーツ施設

本試験での予測し難い内容

- ① 1階には、地域住民が活用できる約400㎡の健康プラザ(健康セミナー、健康測定、健康相談、幼児スポーツ、スポーツショップ等の各コーナーを大空間に設ける)を計画
- ② 敷地は、駅から200mの位置で、駅からの道路は、敷地北側の中心部に直交している。また、南側に運動公園があり、本建物は、駅から運動公園へ向かう人の通路兼休憩を含めた健康増進施設としても活用される
- ③ 敷地西側には、運動公園や本建物の利用者用駐車場があり、その駐車場から建物西側へアプローチする出入口を計画
- ④ エントランスホールの北側出入口と南側出入口に隣接させて1階～3階の空間の連続性を考慮した吹抜けをそれぞれに設ける
- ⑤ 屋内運動室(約200㎡、備品庫含む)は、各自が提案する運動内容を提案